

山鼻福まちだより

第36号

平成30年1月1日

編集者 情報部長

永喜多 宗雄

「福まち」の行事を紹介します。

「福祉のまち推進事業」を省略して、通称「福まち」と呼んでいます。

福まちでは、町内会、福祉推進員、民生委員・児童委員及び各関係機関と協力して、見守り・安否確認、交流活動、研修活動などを行っています。

これらの中には、町内会の回覧板でもお知らせしているものがありますので、ぜひ興味のある活動に参加してみてください。

●見守り・訪問活動（夏と冬の年2回）

山鼻地区にお一人でお住いになられている75歳以上の方を対象に、民生委員や福祉推進員の皆さんが、粗品等をお渡ししながらお宅を訪問し、生活状況に変わりがないかなどの見守りをしています。

今年度の対象者数は、延べで約2千人になりました。

見守り訪問にご協力いただきました多くの方々に、この場をお借りして感謝を申し上げます。

なお、この事業は赤い羽根共同募金の助成金を受けて実施されており、みなさまからの募金が役立てられています。



●やまはな ハツラツ健康教室（平成29年10月14日）

山鼻かしわ児童会館を会場に、日頃からの健康づくり等を目的として健康教室が開催され、地域の子どもから大人まで、約50人が参加しました。

当日最初は、山鼻かしわ児童会館の子どもたちがハンドベル演奏を披露してくださり、参加者は美しい響きにうっとりとして聴



き入りました。

前半は、参加者全員でラジオ体操やふれあい交流ゲーム等、後半は握力や身長、足指力等の測定や片足立ちなどにチャレンジし、世代を超えた交流もできました。

体操では、社会福祉協議会の訪問・見守りのイメージキャラクターである「まもりん」も登場し、大いに盛り上がりました。

参加者は測定記録を見つめ、改めて健康の大切さを認識することができました。

事業に御協力くださいました福祉推進員や児童会館子どもボランティア及びすこやかサポーターの皆さん、その他関係機関の皆さんに厚くお礼申し上げます。



●福祉推進員等研修会（平成29年11月16日、21日）

山鼻地区各町内会の福祉推進員や民生委員・児童委員など約80人が参加し、ブロックごとに2日間に分かれて研修会が行われました。

初めに中央区社会福祉協議会の佐々木さんから「見守り活動について～山鼻地区の取り組み～」と題して講話をいただきました。

進む高齢化や孤立死の現状に対して、町内の人たちが連携して見守り、行政や専門機関につなぐことが大切であること、実際にサロンを開始した町内会や集合住宅での取り組みなど、具体的な事例の紹介がありました。

その後参加者は各グループに分かれ、見守り活動などについての体験談や意見交換を行い、日ごろの活動の悩みや課題を共有して交流を深めることができました。



見守り・訪問活動の輪を広げましょう。

札幌市赤十字奉仕団山鼻分団から

ご寄付をいただきました！

8月3日(木)、札幌市赤十字奉仕団山鼻分団から山鼻地区社会福祉協議会に対して、2万円のご寄付をいただきました。

これは、先に山鼻会館で行われた日赤バザーでの収益金の一部を山鼻地区社会福祉協議会の活動に役立ててほしいとしていただいたものです。

当日は、同赤十字奉仕団山鼻分団の福田分団長ほか役員の皆さんから地区社協の阿部会長が寄付金の贈呈を受け、お礼を申し上げます。

このたびバザー等にご尽力くださいました皆さん、大変ありがとうございました。



赤い羽根共同募金へのご協力に感謝いたします！

平成29年度の赤い羽根共同募金運動が10月から12月にかけて行われました。地域の方々や各町内会からの御寄付、町内会連合会女性部や民生委員・児童委員の皆さんによる街頭運動などへのご協力、大変ありがとうございました。

本年度の山鼻地区における共同募金総額は、1,800,431円となり、札幌市中央区共同募金委員会に送金しました。

このお金は、高齢者や障がいをお持ちの方、子供たちに向けた地域の福祉活動を支援するために役立てられます。

募金運動にご協力くださいました皆様に厚く御礼申し上げます。

共同募金のマーク
を入れる。

民生委員・児童委員の変更について

山鼻地区の民生委員・児童委員の変更をお知らせします。

佐藤さん、福田さんには、長い間大変ありがとうございました。

旧) 第6町内会	佐藤 由忠	平成29年3月28日付解嘱
旧) 第14東町内会	福田 陽子	平成29年7月31日付解嘱
新) 第6町内会	梶田 幸子	平成29年4月1日付委嘱
新) 第6町内会	藤川 幸憲	平成29年4月1日付委嘱
新) 第14東町内会	高野 謙一	平成29年8月1日付委嘱



民生委員制度は、平成29年に100周年を迎えました。

民生委員・児童委員は、さまざまな活動を通して、まちの

安心を支えています。

◆住民の立場にたってまちの福祉を担うボランティアです！

民生委員・児童委員は、法律により厚生労働大臣から委嘱された無報酬のボランティアです。全国共通の制度として、全国どこのまちでも活動しています。(全国に約23万人)

◆こんな活動をしています！

民生委員・児童委員は、担当する地域に暮らす身近な相談相手として、地域住民からの心配事や困りごと、医療や介護、子育ての不安などの相談に応じています。

そしてその課題が解決できるよう、必要な支援への「つなぎ役」になります。

また、地域の見守り役として、定期的な訪問などを通して、高齢者や障がい者世帯、子どもたちの見守りを行っています。

子どもや子育てに関する支援を専門に担当する民生委員（主任児童委員）も活動しています。

山鼻地区社会福祉協議会役員名簿 (平成30年1月1日現在)

会 長	阿部 貞夫	(第9町内会会長／山鼻町内会連合会会長)
副 会 長	芥川 統一	(第6町内会会長／町連副会長)
副 会 長	酒井 一彦	(山鼻地区民生委員児童委員協議会会長／ 第4加志和町内会会長／町連会計部長)
監 査	酒井 佳宏	(第11町内会会長)
総務部長	酒井 一彦	(再掲)
同 副部長	水島 幸雄	(第3町内会会長)
企画部長	小堤 範子	(第13東町内会会長／町連副会長)
情報部長	永喜多宗雄	(第2町内会会長／町連監事)
同 副部長	大友 友江	(心の里親会・奨学会山鼻支部長)
福祉のまち推進 センター部長	酒井 一彦	(再掲)
同 副部長	大川 哲	(第15町内会会長)
会計部長	山岸 義雄	(第10町内会会長／町連副会長)

編集
後記

今年度初めての「福まちだより」をお届けします。昨年末から年始にかけては、比較的
穏やかな天候でしたが、風邪やインフルエンザが流行っていたようです。

まだまだ寒い冬は続きます。皆さま、どうかお身体に気をつけてお過ごしください。